

**鴨川市総合計画審議会 第5回会議  
会議録**

1 日 時 令和2年10月16日(金) 午前10時から11時10分まで

2 場 所 市役所本庁舎4階大会議室

3 出席者

(1) 委 員

	氏 名	分 野	備 考
1	島田 誠一	産業	
2	橋本 裕二	教育	会長
3	常世田 裕司	金融	副会長
4	伊丹 賢	報道	
5	原田 尚佳	識見者	
6	北本 綾子	識見者	
7	座間 斉	識見者	
8	粕谷 朋弘	公募委員	

(順不同、敬称略)

欠席

	氏 名	分 野	備 考
1	飯塚 和夫	産業	
2	田原 智之	産業	
3	鈴木 健史	産業	
4	金井 重人	産業	
5	内山 達也	教育	
6	関口 卓巳	労働	

	氏名	分野	備考
7	橋詰 良子	識見者	

(順不同、敬称略)

(2) 市

	所属・職氏名	備考
1	市長 亀田 郁夫	
2	副市長 小柴 祥司	
3	教育長 月岡 正美	
4	経営企画部 部長 平川 潔	
5	総務部 部長 岩瀬 英彦	
6	健康福祉部 部長 牛村 隆一	
7	建設経済部 部長 佐久間 達也	
8	経営企画部 経営企画課 課長 石井 秀征	事務局
9	経営企画部 経営企画課 課長補佐 岡安 泰弘	"
10	経営企画部 経営企画課 係長 田中 真佐枝	"
11	経営企画部 経営企画課 副主査 早瀬 努	"
12	経営企画部 経営企画課 係長 畑中 博司	"
13	経営企画部 経営企画課 主任主事 小粒 将一	"
14	経営企画部 経営企画課 主事 小畠 正則	"

(3) 一般社団法人構想日本(鴨川市総合計画策定支援業務委託事業者)

	所属・職氏名	備考
1	特別研究員 熊井 成和	
2	プロジェクトリーダー 秋元 真彦	

#### (4) 傍聴者

2名

#### 4 資料

- ・次第
- ・委員名簿
- ・席次表
- ・出席者名簿
- ・資料1 鴨川市住民協議会「第3回かもがわ市民会議」議事要旨
- ・資料2 かもがわ市民会議第3回会議 アンケート結果
- ・資料3 「かもがわ市民会議」からの提案
- ・参考資料
- ・第4回会議会議録

#### 5 会議内容

##### (1) 開会(午前10時)

##### (2) 委員交代の報告及び紹介

鴨川市金融団幹事が京葉銀行鴨川支店から千葉銀行鴨川支店に変更となったことに伴い、京葉銀行鴨川支店 遠山 武雄氏から委員交代の申出があったため、令和2年10月16日付けで、同氏の後任委員として、千葉銀行鴨川支店長 常世田 裕司氏を委嘱したことを事務局から報告するとともに、常世田委員を紹介した。

##### (3) 市長あいさつ

(要旨)

本日の会議では、9月12日に開催した第3回かもがわ市民会議の概要について説明をさせていただく。

これまで市民会議では、「働きがいのある仕事づくり」、「生活を支える交通」、「子育て子育て環境づくり」、「みんなで考える防災対策」の4つのテーマで活発な議論が交わされてきたが、今回はそれぞれの分野で活躍されている方々をナビゲーターとしてお招きし、テーマに沿った事例等を話していただいた。

今後は、市民会議から提案された施策や事業を総合計画の反映させていく作業を進めていくこととなるので、委員の皆様には、市民会議で議論された内容について、幅広い識見からご意見をいただくよう、お願いする。

##### (4) 会長あいさつ

(要旨)

本日の会議では、先日開催された第3回かもがわ市民会議の結果等を踏まえながら、引き続

き、総合計画及び総合戦略の策定について審議を行う。

皆様には、是非、主体的かつ建設的なご意見をいただくとともに、会議の円滑な運営にご協力をいただきたい。

#### (4) 副会長の選出

橋本会長の進行により、副会長に 常世田 裕司 委員を選出した。

#### (5) 議 題

鴨川市附属機関設置条例第5条第2項の規定に基づき会議が成立したことについて事務局から報告した後、同条第1項の規定に基づき、橋本会長が議長となって議事を進行した。

冒頭、議長から、名簿順に 粕谷 朋弘 委員及び 島田 誠一 委員を会議録署名委員として指名した後、議事に入った。

##### 議題1 第3回かもがわ市民会議会議結果について

参考資料により、事務局から説明し、資料のとおり承認した。

資料1から3により、一般社団法人構想日本から説明し、資料のとおり承認した。

コメント及び質疑等は、次のとおり。

・かもがわ市民会議の運営方法等について

《北本委員》

市民会議の参加者について、全体的に年配者の方の参加が多いという説明があったが、若年層や移住者の方の参加割合はどの程度なのか。

《事務局・畑中》

参加者の年齢層については、10代が2名、20代と子育て世代がそれぞれ全体の2割程度、60代以上が過半数を占めている状況となっている。

移住者の方の比率はそれほど多くはないが、議事要旨等を見ると、移住者の方からの発言が多くなっているという印象は受けている。

《熊井特別研究員》

第2分科会「生活を支える交通」のコーディネーターを務めさせていただいているが、移住者の方の参加割合は3割程度という印象である。

《粕谷委員》

提案内容は素晴らしいものだと思うが、何年後に実現可能なのか、予算はどの程度必要なのかといったことを検討しなければ、計画を作るだけで終わってしまうのではないかと。

《熊井特別研究員》

現段階では、これらの提案を実際に行うことは難しいと思われるが、実現に向けた具

体的なステップを計画に落とし込むことを検討している状況である。

《橋本会長》

今回の提案内容は市民側からの要望が主体となっているため、実際に計画に落とし込めるかどうかは今後の課題となってくるものと思われる。

《平川部長》

市民会議を始めた時からの大きなテーマであるが、市民からの提案に対して、行政の現状や経緯、思い等について話をしなければならないと考えている。

提案内容について、実際に行うのか否かについては、行政として説明責任を果たすことは当然であり、実際に計画を作成するプロセスについても明らかにする予定でいる。具体的な手法等については、今後検討していくこととしたい。

・第1分科会「働きがいのある仕事づくり」からの提案について  
コメント及び質疑等は、なし。

・第2分科会「生活を支える交通」からの提案について  
コメント及び質疑等は、なし。

・第3分科会「子育て子育て環境づくり」からの提案について  
《原田委員》

提案内容について、賛同できるものはあまりなかったというのが正直な感想である。

今後、子どもが生まれて子育てをしていくなかで考えも変わっていくかもしれないので、参考とさせていただきたい。

・第4分科会「みんなで考える防災対策」からの提案について  
《伊丹委員》

「私たち市民」、「地域」、「行政」のそれぞれ行うことを整理していることはとても良いことだと感じた。

行政がお金を出すから行動するといった考えではなく、自分たちの住むまちをどうしていくのかということを考えていける市民を育てていくことが重要なのではないかと感じた。

《島田委員》

全てのことを行政に頼るのではなく、市民が行うことを計画書にも謳うべきだと感じている。財政面等を考慮しても、行政がまちづくりの問題を全て担うという時代ではなくなっている。

## (6) その他

事務局から、次回会議の日程については、調整の上で改めて連絡することを説明した。

(7) 閉会 (午前 11 時 10 分)

(以上)

---

鴨川市附属機関等の会議の公開に関する実施要領第7条第3項の規定により議事録の内容について確認します。

令和2年11月26日

粕谷 朋弘

---

島田 誠一

---